

平成26年7月2日

船橋市長 松戸 徹 様

船橋市リハビリセンター
運営委員会 委員長 寺田 俊昌

船橋市リハビリセンターの中期目標の策定について（報告）

船橋市リハビリセンター運営委員会設置要綱第2条第1号の規定により、平成26年4月以降に船橋市リハビリセンターが達成すべき中期目標の策定を行ったので、別添のとおり報告する。

船橋市リハビリセンター中期目標

前文

地域で生活しながらリハビリを行う方を対象に、総合的なリハビリを提供する施設として指定管理者制度を導入し、これまでの医療保険・介護保険適用外のリハビリ事業に加え、リハビリテーション科の診療所と訪問看護ステーションの運営を開始するものとした。さらに地域リハビリテーションを推進するための拠点事業として、市内の回復期病床を持つ病院等と密接な連携体制を整え、回復期から維持期までの継続したリハビリテーションを提供するため、リハビリの総合相談や啓発活動等を行い、医療・介護の専門家、家族等がリハビリテーションの立場から協力しあう「地域リハビリテーション」の推進を支援していくなどの新たな取り組みを実施する。

このため、センターを管理する指定管理者においては、これまでに培った維持期のリハビリテーションに関するさまざまなノウハウを活用したセンターの運営が期待されるところであり、指定期間中の安定した管理運営に最大限の努力を傾注されたい。

第1 中期目標の期間

中期目標の期間は、平成26年4月1日から平成29年3月31日までの3年間とする。

第2 中期目標

センターは、以下に示す中期目標を達成するよう努めなければならない。

1 利用者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項

センターが本市における地域リハビリテーションの拠点施設としての役割を担うには、第一に、利用者に継続的なリハビリを受けられる、または受けたいと思える環境を作ることが必要である。そのためには各部門における利用者及びその家族の相談やニーズに対応し、個々の状況に応じた最適なサービスを提供することにより利用者及びその家族の利用満足度を高め、もってQOL（生活の質）の向上を図ることが重要である。

目標値としては、次のとおり定める。

目標1 外来患者について

目標項目	目標値	備考
バーセルインデックス（BI）	維持	定義については別紙1参照のこと
ライフスペース・アセスメント	維持	
SF-8	維持	
Zarit(介護負担尺度)	維持	

利用者アンケート	「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上	調査項目については別紙2参照のこと
----------	---	-------------------

目標2 通所リハビリ利用者について

目標項目	目標値	備考
バーセルインデックス (BI)	維持	定義については別紙1参照のこと
ライフスペース・アセスメント	維持	
SF-8	維持	
Zarit(介護負担尺度)	維持	
利用者アンケート	「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上	調査項目については別紙2参照のこと

目標3 訪問リハビリ利用者について

目標項目	目標値	備考
バーセルインデックス (BI)	維持	定義については別紙1参照のこと
ライフスペース・アセスメント	維持	
SF-8	維持	
Zarit(介護負担尺度)	維持	
利用者アンケート	「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上	調査項目については別紙2参照のこと

目標4 訪問看護利用者について

目標項目	目標値	備考
利用者アンケート	「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上	調査項目については別紙2参照のこと

目標5 リハビリ事業利用者について

目標項目	目標値	備考
利用者アンケート	「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上	調査項目については別紙2参照のこと

2 財務内容の改善に関する事項

センターが患者およびその家族に対して質の高いサービスを提供しつづけるためには、運営の基盤となる財務状況の安定が必須条件となる。このため、センターが有するさまざまな人的・物的資源を有効に活用することにより収入増を図るとともに、設定した指定管理料については指定期間内での計画的な執行を行うなど、安定的な経営を行なうことのできる適正な財務状況の維持に努めること。

目標値としては、次のとおり定める。

目標6 診療所部門 経常収支比率

90%以上

目標7 訪問看護部門 経常収支比率

70%以上

3 その他管理に関する重要事項

地域リハビリテーション拠点事業の実施について

障害のある人々や高齢者及びその家族が住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、安全にいきいきとした生活を送るためにリハビリテーションを必要とする人が、少ない資源の中で、医療、介護等のサービスを楽しむためには、急性期から維持期までのあらゆるステージにおいて、適切な支援が継続的に行われる必要がある。

しかしながら、地域リハビリテーションは市民やリハビリ関係者において、その重要性・必要性に対して未だ十分な認識がされておらず、供給量も不足しているのが現状である。

このことから、市民及び市内のリハビリテーション関係者に対してリハビリテーションの重要性及び必要性を周知すること、市内のリハビリテーション関係者の育成、医療及び介護の連携強化並びにリハビリテーションに関する実態把握を目的として、地域リハビリ

テーション拠点事業を実施することにより、地域リハビリテーションを推進していくよう支援に努めること。

目標としては、次のとおり定める。

目標 8 毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行なう。

第 3 添付書類

別紙 1 中期目標の各項目における定義

別紙 2 各目標アンケート調査項目

- 1 外来患者へのアンケート調査項目
- 2 通所リハビリ利用者へのアンケート調査項目
- 3 訪問リハビリ利用者へのアンケート調査項目
- 4 訪問看護利用者へのアンケート調査項目
- 5 リハビリ事業利用者へのアンケート調査項目

別紙 3 各目標リハビリテーション効果調査項目

- 1 バーセルインデックス (BI)
- 2 ライフスペースアセスメント (LSA)
- 3 SF-8
- 4 Zarit (介護負担尺度)

別紙 1 中期目標の各項目における定義

	項目	定義
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">1 患者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項</p>	<p>バーセルインデックス (BI)</p>	<p>初回と比較して、6ヵ月後のADL(日常生活動作)がどれだけ向上したかを示す数値。「質の高い」リハビリを提供したかどうかを測る。 算出式は次のとおり。 (A) = {(患者の6ヵ月後におけるBIの合計) - (患者の初回におけるBIの合計)} ÷ (各部門患者数) (単位: 点)</p>
	<p>ライフスペース・アセスメント (LSA)</p>	<p>初回と比較して、6ヵ月後の生活範囲がどれだけ拡大したかを示す数値。「質の高い」リハビリを提供したかどうかを測る。 算出式は次のとおり。 (B) = {(患者の6ヵ月後におけるLSAの合計) - (患者の初回におけるLSAの合計)} ÷ (各部門患者数) (単位: 点)</p>
	<p>SF-8</p>	<p>初回と比較して、6ヵ月後の身体的・精神的な健康(生活の質(QOL))がどれだけ向上したかを示す数値。「質の高い」リハビリを提供したかどうかを測る。 算出式は次のとおり。 (C) = {(患者の6ヵ月後における点数の合計) - (患者の初回における点数の合計)} ÷ (各部門患者数) (単位: 点)</p>
	<p>Zarit(介護負担尺度)</p>	<p>初回と比較して、6ヵ月後の患者家族の介護負担感がどれだけ軽減したかを示す数値。「質の高い」リハビリを提供したかどうかを測る。 算出式は次のとおり。 (D) = {(6ヵ月後における介護負担尺度点数の合計) - (初回における介護負担尺度点数の合計)} ÷ (各部門患者数) (単位: 点)</p>
	<p>外来患者満足度 (E)</p>	<p>外来患者及びその家族に対し、各項目について5段階評価(満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足)のアンケート調査(別紙3)を行う。患者及びその家族の満足度として、全有効回答のうち「満足」と「やや満足」と回</p>

	<p>答したものを足した割合、および「満足」と回答したものの割合を算出する。算出式は次のとおり。</p> $(E) = (\text{「満足」と「やや満足」の合計数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$ $(E)' = (\text{「満足」の回答数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$
通所リハビリ利用者満足度 (F)	<p>通所リハビリ利用者及びその家族に対し、各項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）のアンケート調査（別紙3）を行う。利用者及びその家族の満足度として、全有効回答のうち「満足」と「やや満足」と回答したものを足した割合、および「満足」と回答したものの割合を算出する。算出式は次のとおり。</p> $(F) = (\text{「満足」と「やや満足」の合計数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$ $(F)' = (\text{「満足」の回答数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$
訪問リハビリ利用者満足度 (G)	<p>訪問リハビリ利用者及びその家族に対し、各項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）のアンケート調査（別紙4）を行う。利用者及びその家族の満足度として、全有効回答のうち「満足」と「やや満足」と回答したものを足した割合、および「満足」と回答したものの割合を算出する。算出式は次のとおり。</p> $(G) = (\text{「満足」と「やや満足」の合計数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$

	$(G)' = (\text{「満足」の回答数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$
訪問看護利用者満足度 (H)	<p>訪問看護利用者及びその家族に対し、各項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）のアンケート調査（別紙5）を行う。利用者及びその家族の満足度として、全有効回答のうち「満足」と「やや満足」と回答したものを足した割合、および「満足」と回答したものの割合を算出する。算出式は次のとおり。</p> $(H) = (\text{「満足」と「やや満足」の合計数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$ $(H)' = (\text{「満足」の回答数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$
リハビリ事業利用者満足度 (I)	<p>リハビリ事業利用者及びその家族に対し、各項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）のアンケート調査（別紙6）を行う。利用者及びその家族の満足度として、全有効回答のうち「満足」と「やや満足」と回答したものを足した割合、および「満足」と回答したものの割合を算出する。算出式は次のとおり。</p> $(I) = (\text{「満足」と「やや満足」の合計数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$ $(I)' = (\text{「満足」の回答数}) \div (\text{全有効回答数}) \times 100 \text{ (単位: \%)}$

<p>2 財務内容 の改善に 関する事 項</p>	<p>経常収支比率(J)</p>	<p>各部門の指定管理委託料を除いた収入(a)の合計を各部門の支出(b)の合計で除して100を乗じて算出した割合。算出式は次のとおり。 (J) = ((a) ÷ (b)) × 100 (単位 : %)</p>
<p>3 その他管 理に関す る重要事 項</p>	<p>地域リハビリテーション拠点事業の実施(K)</p>	<p>毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行なう。</p>

別紙2 各目標アンケート調査項目

1 外来患者へのアンケート調査項目

以下の3項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）を行うアンケート調査を実施する。

- 当センターのリハビリテーションについてご満足いただけましたか。
- 職員の対応についてご満足いただけましたか。
- 待ち時間についてご満足いただけましたか。

2 通所リハビリ利用者へのアンケート調査項目

以下の3項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）を行うアンケート調査を実施する。

- 当センターのリハビリテーションについてご満足いただけましたか。
- 職員の対応についてご満足いただけましたか。
- 通所リハビリのスケジュールについてご満足いただけましたか。

3 訪問リハビリ利用者へのアンケート調査項目

以下の3項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）を行うアンケート調査を実施する。

- 当センターのスタッフが提供するリハビリテーションについてご満足いただけましたか。
- 職員の対応についてご満足いただけましたか。
- 訪問のスケジュールについてご満足いただけましたか。

4 訪問看護利用者へのアンケート調査項目

以下の3項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）を行うアンケート調査を実施する。

- 当センターのスタッフが提供する訪問看護についてご満足いただけましたか。
- 職員の対応についてご満足いただけましたか。
- 訪問のスケジュールについてご満足いただけましたか。

5 リハビリ事業利用者へのアンケート調査項目

以下の3項目について5段階評価（満足・やや満足・どちらでもない・やや不満足・不満足）を行うアンケート調査を実施する。

- 当センターのパワーリハビリについてご満足いただけましたか。
- 当センターのプールリハビリについてご満足いただけましたか。
- 職員の対応についてご満足いただけましたか。
- リハビリのスケジュールについてご満足いただけましたか。

利用者のアウトカム評価指標【バーセルインデックス】

調査日		第	回
-----	--	---	---

バーセルインデックス(機能的評価)

健常者は100点、全介助は0点

1 食事	10: 自立、自助具などの装着可、標準的時間内に食べ終える
	5: 部分介助(たとえば、おかずを切って細かくしてもらう)
	0: 全介助
2 車椅子からベッドへの移動	15: 自立、ブレーキ、フットレストの操作も含む(非行自立も含む)
	10: 軽度の部分介助または監視を要する
	5: 座ることは可能であるがほぼ全介助
	0: 全介助または不可能
3 整容	5: 自立(洗面、整髪、歯磨き、ひげそり)
	0: 部分介助または不可能
4 トイレ動作	10: 自立、衣服の操作、後始末を含む、ポータブル便器などを使用している場合はその洗浄も含む
	5: 部分介助、体を支える、衣服、後始末に介助を要する
	0: 全介助または不可能
5 入浴	5: 自立
	0: 部分介助または不可能
6 歩行	15: 45M以上の歩行、補装具(車椅子、歩行器は除く)の使用の有無は問わない
	10: 45M以上の介助歩行、歩行器の使用を含む
	5: 歩行不能の場合、車椅子にて45M以上の操作可能
	0: 上記以外
7 階段昇降	10: 自立、手すりなどの使用の有無は問わない
	5: 介助または監視を要する
	0: 不能
8 着替え	10: 自立、靴、ファスナー、装具の着脱を含む
	5: 部分介助、標準的な時間内、半分以上は自分で行える
	0: 上記以外
9 排便コントロール	10: 失禁なし、浣腸、坐薬の取り扱いも可能
	5: ときに失禁あり、浣腸、坐薬の取り扱いに介助を要する者も含む
	0: 上記以外
10 排尿コントロール	10: 失禁なし、収尿器の取り扱いも可能
	5: ときに失禁あり、収尿器の取り扱いに介助を要する者も含む
	0: 上記以外

利用者のアウトカム評価指標【Life-Space Assessment】

調査日		第 回
-----	--	-----

質問項目（過去4週間の活動範囲について）		回答（いずれかに○）	
生活空間レベル1	a	この4週間、あなたは自宅で寝ている場所以外の部屋に行きましたか。	①はい ②いいえ
	b	この4週間で、上記生活空間に何回行きましたか。	①週1回未満 ②週1～3回 ③週4～6回 ④毎日
	c	上記生活空間に行くのに、補助具または特別な器具を使いましたか。	①はい ②いいえ
	d	上記生活空間に行くのに、他者の助けが必要でしたか。	①はい ②いいえ

生活空間レベル2	a	この4週間、玄関外、ベランダ、中庭、（マンションの）廊下、車庫、庭または敷地内の通路などの屋外に出ましたか。	①はい ②いいえ
	b	この4週間で、上記生活空間に何回行きましたか。	①週1回未満 ②週1～3回 ③週4～6回 ④毎日
	c	上記生活空間に行くのに、補助具または特別な器具を使いましたか。	①はい ②いいえ
	d	上記生活空間に行くのに、他者の助けが必要でしたか。	①はい ②いいえ

生活空間レベル3	a	この4週間、自宅の庭またはマンションの建物以外の近隣の場所に外出しましたか。	①はい ②いいえ
	b	この4週間で、上記生活空間に何回行きましたか。	①週1回未満 ②週1～3回 ③週4～6回 ④毎日
	c	上記生活空間に行くのに、補助具または特別な器具を使いましたか。	①はい ②いいえ
	d	上記生活空間に行くのに、他者の助けが必要でしたか。	①はい ②いいえ

生活空間レベル4	a	この4週間、近隣よりも離れた場所（ただし町内）に外出しましたか。	①はい ②いいえ
	b	この4週間で、上記生活空間に何回行きましたか。	①週1回未満 ②週1～3回 ③週4～6回 ④毎日
	c	上記生活空間に行くのに、補助具または特別な器具を使いましたか。	①はい ②いいえ
	d	上記生活空間に行くのに、他者の助けが必要でしたか。	①はい ②いいえ

生活空間レベル5	a	この4週間、町外に外出しましたか。	①はい ②いいえ
	b	この4週間で、上記生活空間に何回行きましたか。	①週1回未満 ②週1～3回 ③週4～6回 ④毎日
	c	上記生活空間に行くのに、補助具または特別な器具を使いましたか。	①はい ②いいえ
	d	上記生活空間に行くのに、他者の助けが必要でしたか。	①はい ②いいえ

利用者のアウトカム評価指標【健康関連 SF-8】

調査日		第 回
-----	--	-----

項目	回答
1. 全体的にみて、過去1ヵ月間のあなたの健康状態はいかがでしたか	1. 最高に良い 2. とても良い 3. 良い 4. あまり良くない 5. 良くない 6. 全然良くない
2. 過去1ヵ月間に、体を使う日常活動（歩いたり階段を昇ったりなど）をすることが身体的な理由でどのくらい妨げられましたか。	1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた 5. 体を使う日常生活が出来なかった
3. 過去1ヵ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）をすることが、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか。	1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた 5. いつもの仕事ができなかった
4. 過去1ヵ月間に、体の痛みはどのくらいありましたか。	1. ぜんぜんなかった 2. かすかな痛み 3. 軽い痛み 4. 中くらいの痛み 5. 強い痛み 6. 非常に激しい痛み
5. 過去1ヵ月間、どのくらい元気でしたか。	1. 非常に元気だった 2. かなり元気だった 3. 少し元気だった 4. わずかに元気だった 5. ぜんぜん元気でなかった
6. 過去1ヵ月間に、家族や友人とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか。	1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた 5. つきあいができなかった
7. 過去1ヵ月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか。	1. ぜんぜん悩まされなかった 2. わずかに悩まされた 3. 少し悩まされた 4. かなり悩まされた 5. 非常に悩まされた
8. 過去1ヵ月間に、日常行う活動（仕事、学校、家事などのふだんの行動）が、心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか。	1. ぜんぜん妨げられなかった 2. わずかに妨げられた 3. 少し妨げられた 4. かなり妨げられた 5. 体を使う日常生活が出来なかった

利用者のアウトカム評価指標【Zarit介護負担尺度日本語版短縮版】

調査日		第	回
-----	--	---	---

<p style="text-align: center;">本項目の回答方法 (該当するものに✓をつけて ください)</p>	<input type="checkbox"/> 介護者・家族自身が回答 <input type="checkbox"/> 評価者が、介護者・家族に聞き取って回答 <input type="checkbox"/> 評価者の判断で回答 <input type="checkbox"/> 介護者・家族が不在のため回答できない (この場合下記項目には無回答で構いません)
---	--

質問項目	回答 (いずれかに○)
1 介護を受けている方の行動に対し、困ってしまう と思うことがありますか	1 思わない 2 たまに思う 3 時々思う 4 よく思う 5 いつも 思う
2 介護を受けている方のそばにいと腹が立つこ とがありますか	1 思わない 2 たまに思う 3 時々思う 4 よく思う 5 いつも 思う
3 介護があるので、家族や友人と付き合いづら くなっていると思いますか	1 思わない 2 たまに思う 3 時々思う 4 よく思う 5 いつも 思う
4 介護を受けている方のそばにいと、気が休ま らないと思いますか	1 思わない 2 たまに思う 3 時々思う 4 よく思う 5 いつも 思う
5 介護があるので、自分の社会参加の機会が減 ったと思うことがありますか	1 思わない 2 たまに思う 3 時々思う 4 よく思う 5 いつも 思う
6 介護を受けている方が家にいるので、友達を自 宅によびたくてもよべないと思ったことありま すか	1 思わない 2 たまに思う 3 時々思う 4 よく思う 5 いつも 思う
7 介護をだれかに任せてしまいたいと思うこと がありますか	1 思わない 2 たまに思う 3 時々思う 4 よく思う 5 いつも 思う
8 介護を受けている方に対して、どうしていい かわからないと思うことがありますか	1 思わない 2 たまに思う 3 時々思う 4 よく思う 5 いつも 思う